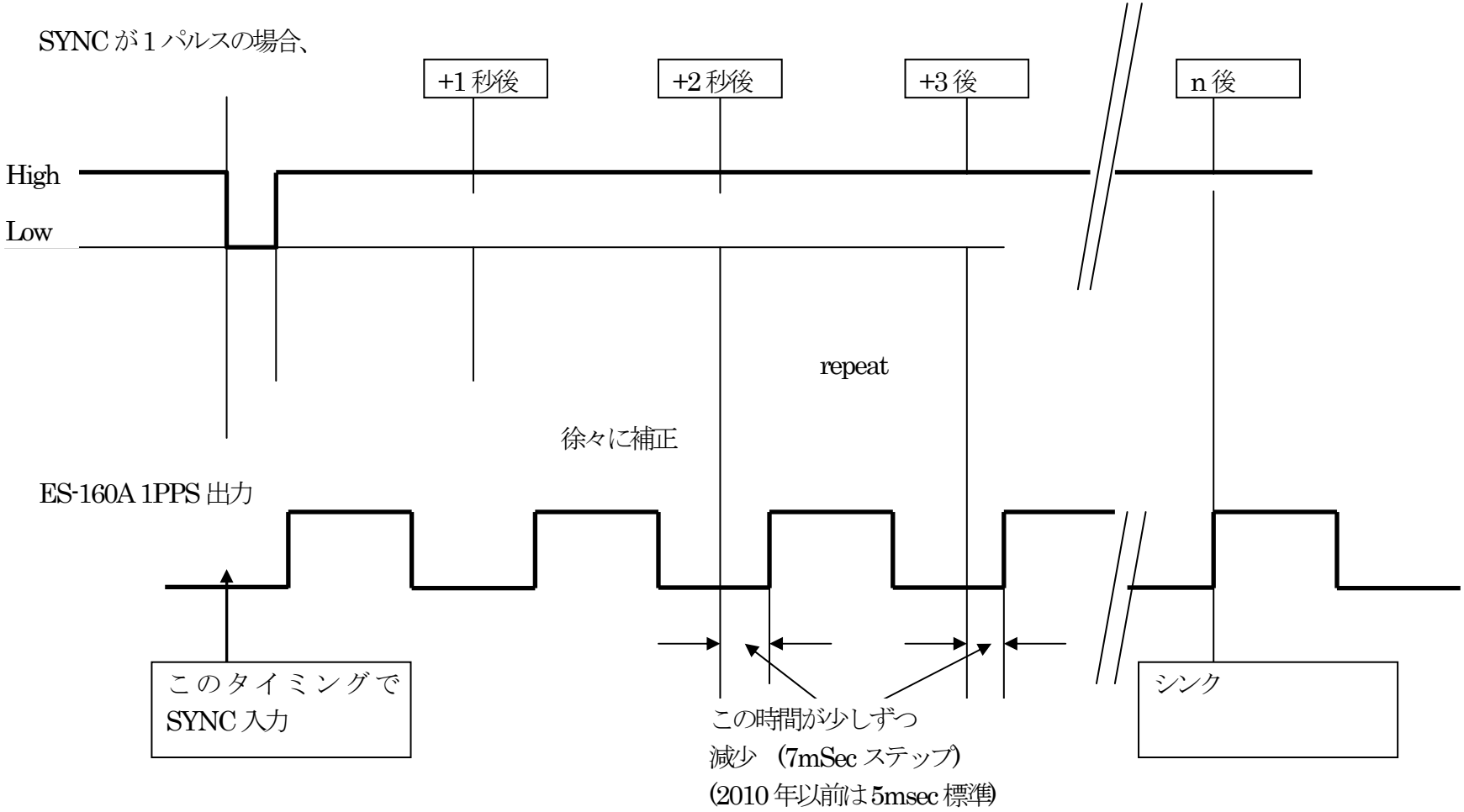
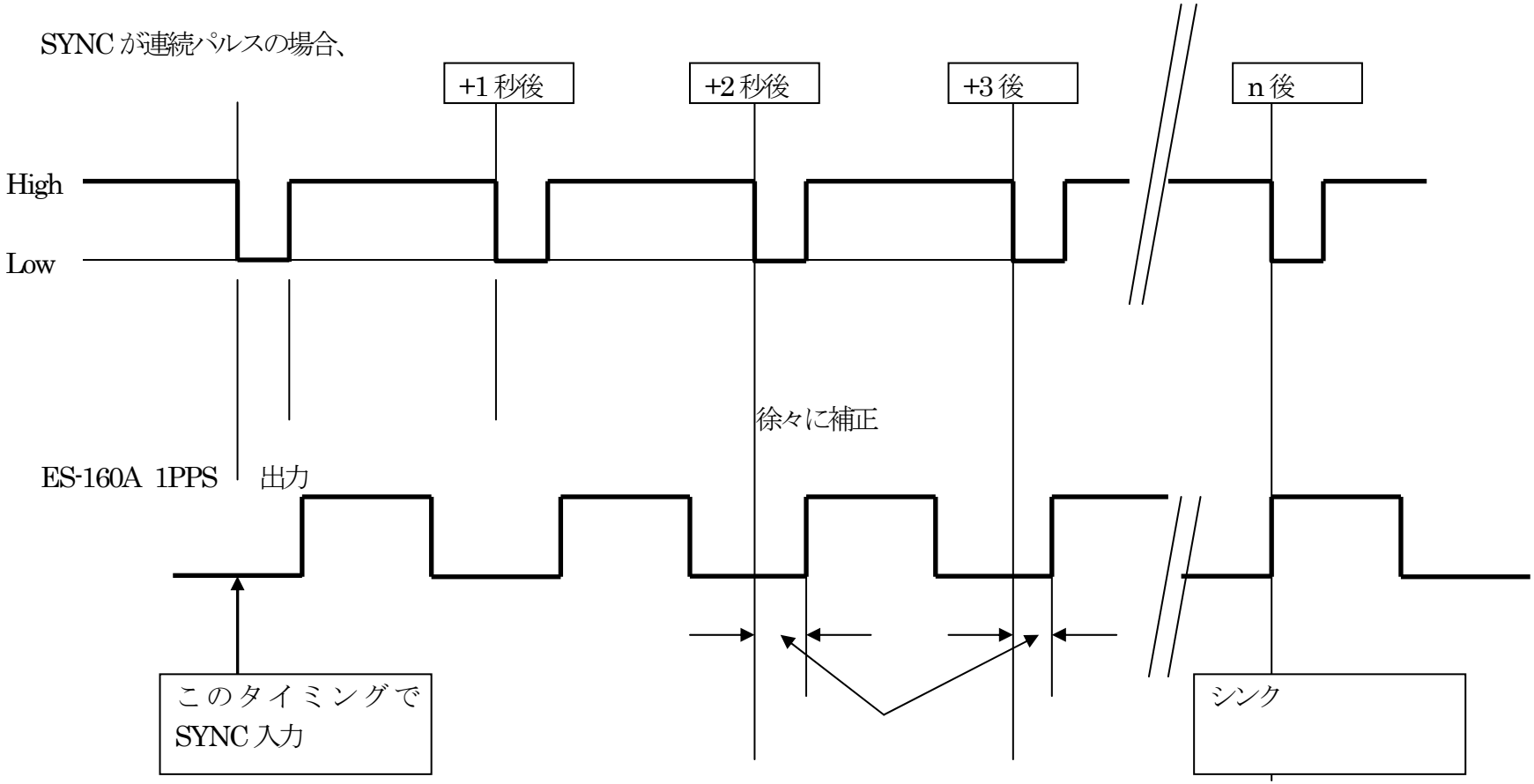
ES-160U　SYNC入力動作

SYNC 入力があると、1PPS 出力を含む ES-160U (ES-160A) のクロックはこのタイミングに徐々に近づき同期する。
シンクパルスのタイミングで瞬間に時刻は変わらず、下記のように徐々に時刻を修整します。
標準の秒パルス入力の場合、プラスマイナス 0.5 秒の補正となります。
(タイムコード出力にドロップアウトを発生させないよう 1 秒につき 7msec (または 5msec) ステップで補正します、)



SYNC が連続パルスの場合、



連続SYNC 信号がある場合は、n 秒後と n 回目の SYNC は同一、またはほぼ同じタイミング
でないと正しいSYNC 動作が出来ません。

注意

マスター時計の秒パルス出力が、うるう秒に対応に自動対応する仕組みとして100秒の間、1秒を10msecづづ遅らせて出力する仕組みがあります。
この方式のパルス出力をES-160Uが受ける場合は、補正レートを標準の5msecから7msecタイプにする必要があります。

標準の5msec補正では100秒で0.5秒のずれとなり、+1秒側に補正せず再度もとの0秒側にシンクしてしまいます。
7msec補正タイプは0.7秒のずれとなるので+1秒側にシンクし正しく補正されます。

この仕組みの理由は、タイムコード出力にドロップアウトを発生させないよう徐々に補正するためです。